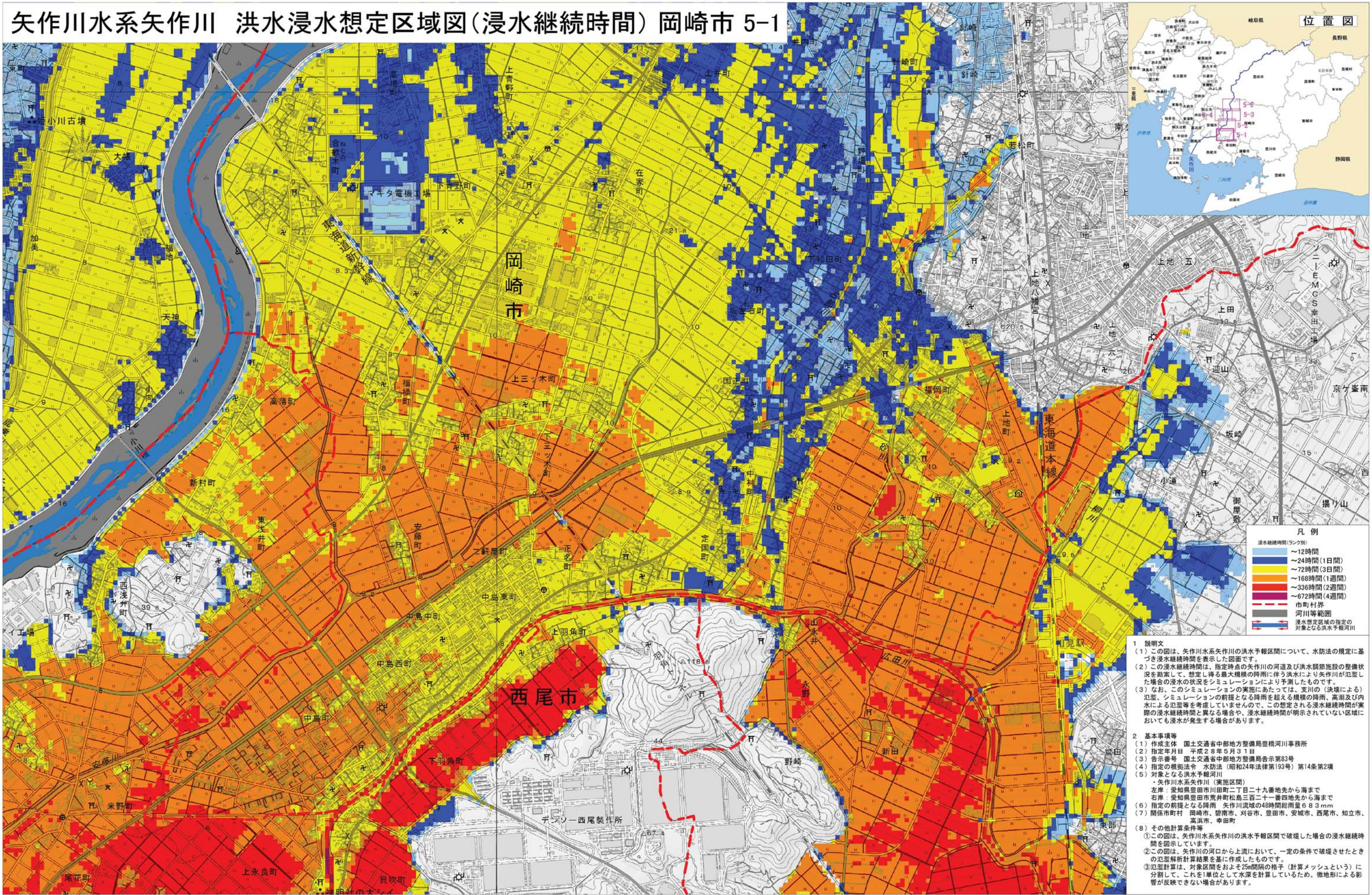
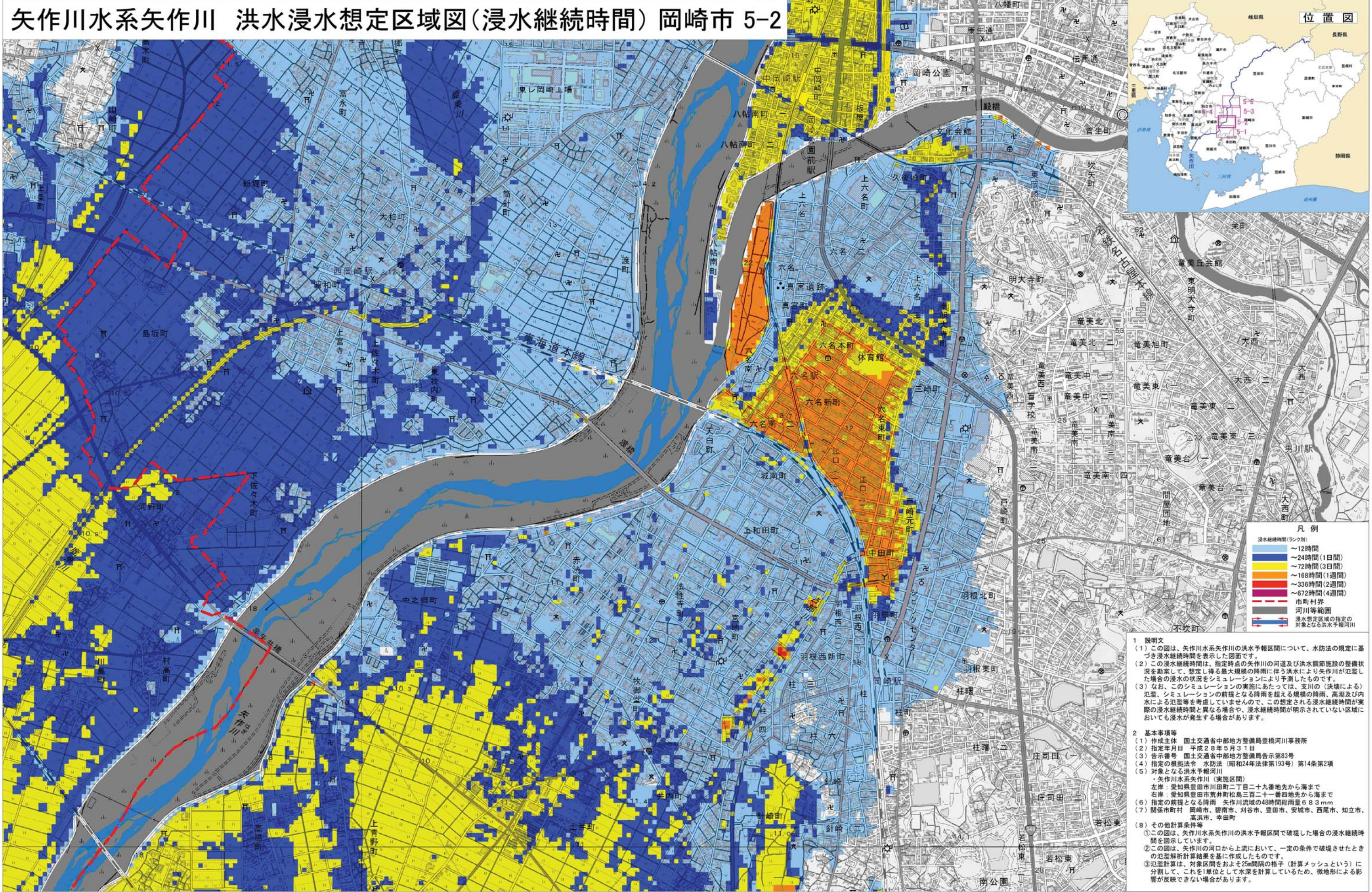


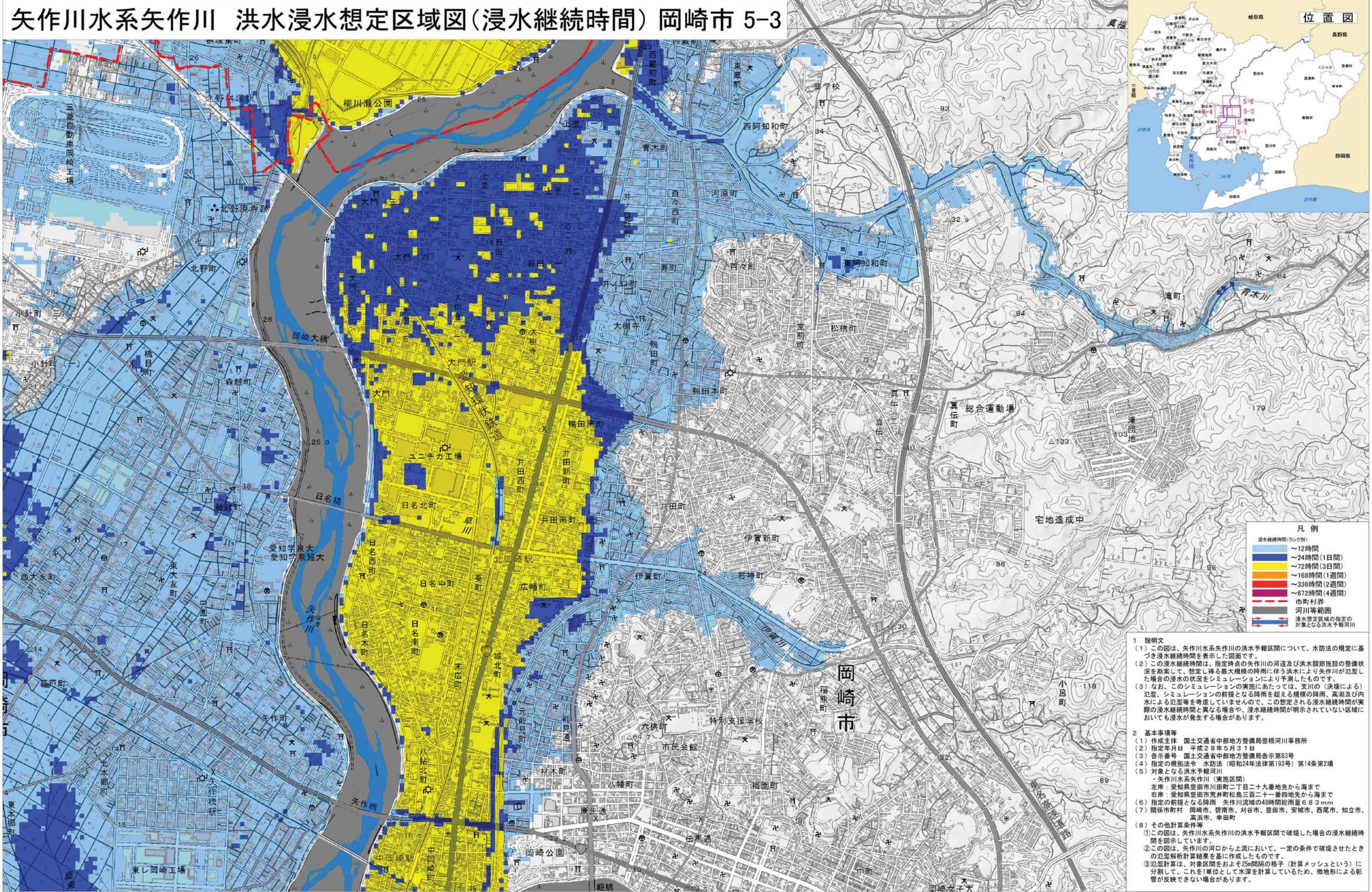
矢作川水系矢作川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 岡崎市 5-1



矢作川水系矢作川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 岡崎市 5-2



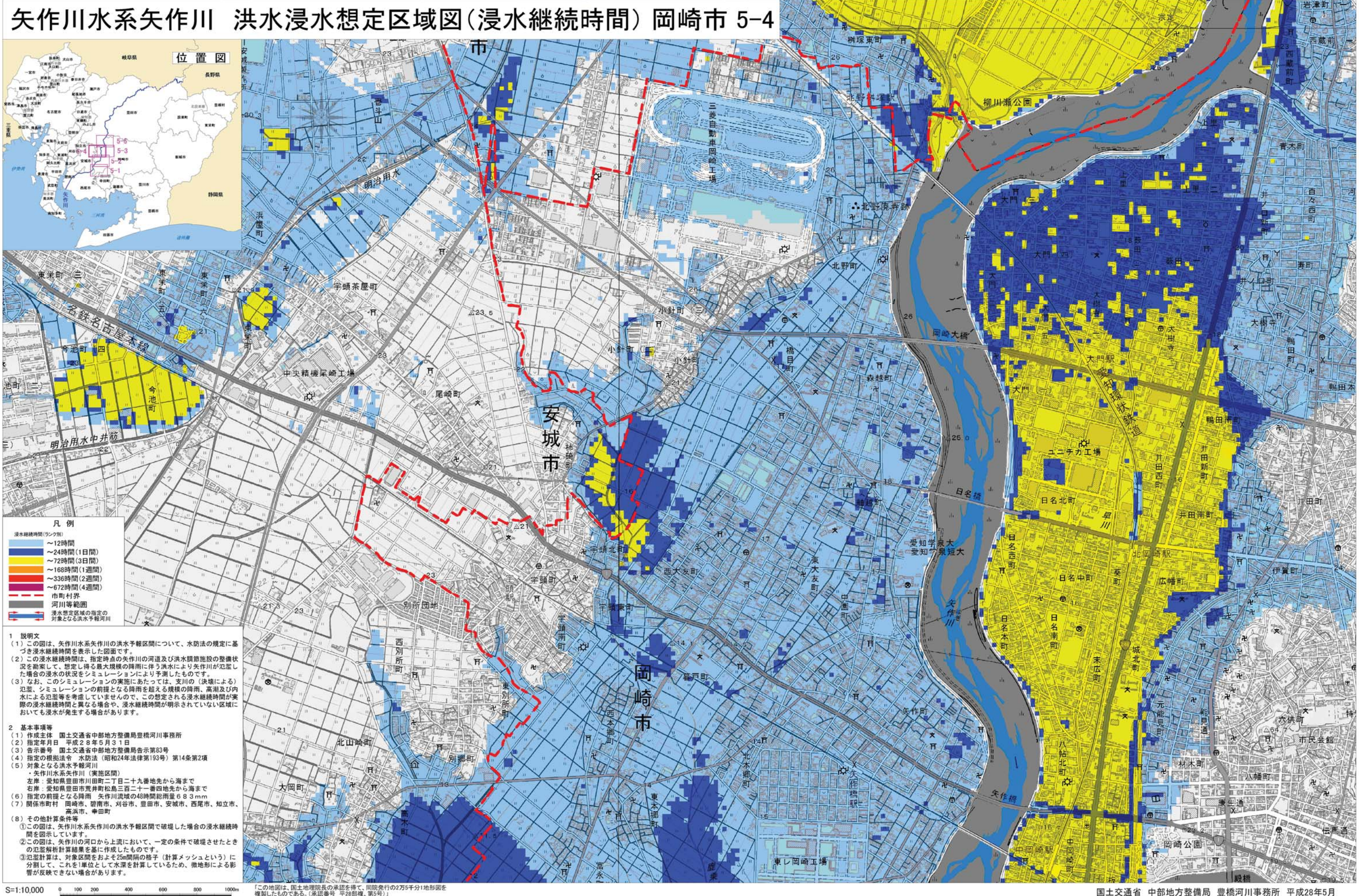
矢作川水系矢作川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 岡崎市 5-3



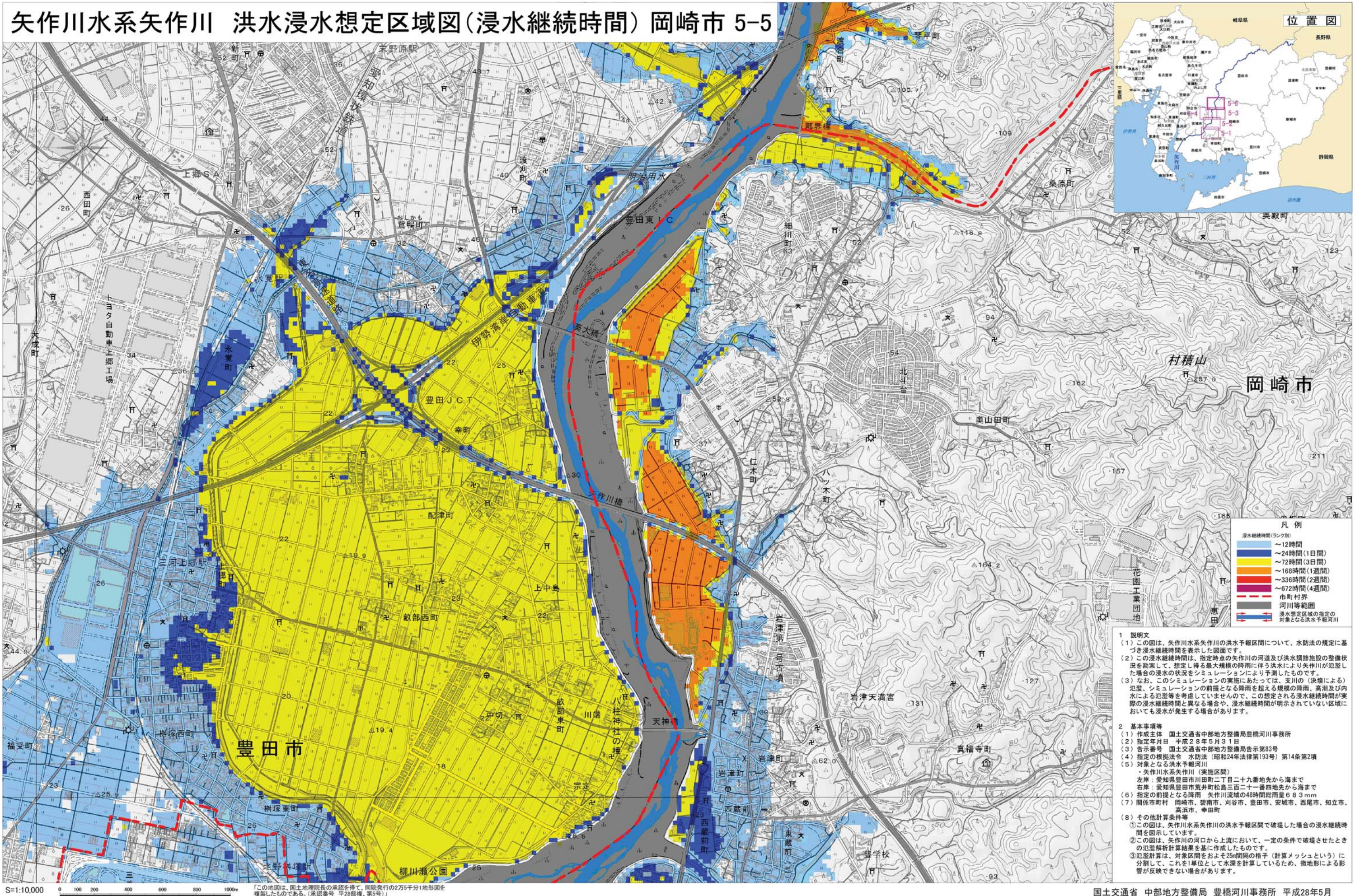
1 説明文  
(1) この図は、矢作川水系矢作川の洪水浸水想定区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。  
(2) この浸水継続時間は、指定時点の矢作川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により矢作川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等  
(1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所  
(2) 指定年月日 平成28年5月31日  
(3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第83号  
(4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項  
(5) 対象となる洪水予報河川  
・矢作川水系矢作川(実施区域)  
左岸:愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで  
右岸:愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番地先から海まで  
(6) 指定の前提となる降雨 矢作川流域の48時間総雨量68.3mm  
(7) 関係市町村 岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町  
(8) その他計算条件等  
①この図は、矢作川水系矢作川の洪水浸水想定区域で破壊した場合の浸水継続時間を図示しています。  
②この図は、矢作川の河口から上流において、一定の条件下で破壊させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
③氾濫計算は、対象区域をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

矢作川水系矢作川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 岡崎市 5-4



矢作川水系矢作川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) 岡崎市 5-5



**凡例**

浸水継続時間(ランク別)

- ～12時間
- ～24時間(1日間)
- ～72時間(3日間)
- ～168時間(1週間)
- ～336時間(2週間)
- ～672時間(4週間)

市町村界

河川等範囲

浸水想定区域の指定の  
対象となる洪水予報河川

- 1 説明文**
- (1) この図は、矢作川水系矢作川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
  - (2) この浸水継続時間は、指定時点の矢作川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により矢作川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等**
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
  - (2) 指定年月日 平成28年5月31日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第83号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号) 第14条第2項
  - (5) 対象となる洪水予報河川  
・矢作川水系矢作川(実施区域)  
左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで  
右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番地先から海まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 矢作川流域の48時間総雨量68.3mm
  - (7) 関係市町村 岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町
  - (8) その他計算条件等  
①この図は、矢作川水系矢作川の洪水予報区域で破壊した場合の浸水継続時間を図示しています。  
②この図は、矢作川の河口から上流において、一定の条件で破壊させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。